

2021年 入試改革

共通テスト 第2日程 志願者はわずか0.1%！ 速報値で789人のみ！

旺文社 教育情報センター 2020年10月15日

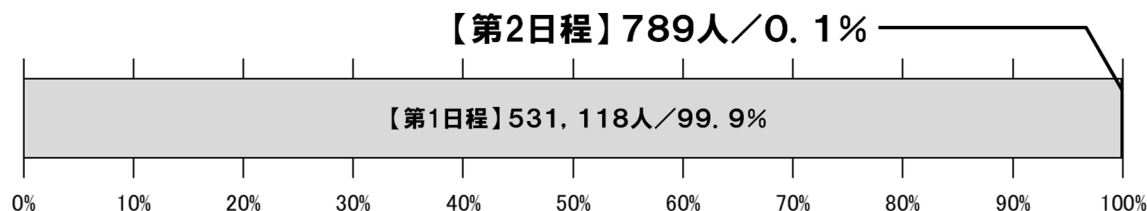
大学入試センターは本日、1月に行われる共通テストの志願者数について、「第1日程(1月16日、17日)」と「第2日程(1月30日、31日)」※の内訳を公表した。この数値は速報値で、最終的な確定数は12月上旬に公表される。

※本記事では便宜上「第1日程」「第2日程」と表記。正式名称ではない。

●「第1」「第2」の内訳

「第2」で出願した志願者は789人。志願者全体における割合は0.1%となった。

共通テストの出願はすべて出そろったものの、まだ入試センターでの重複出願等の確認処理が完了していない。現在は出願総数535,244人で、このうち確認処理が済んだのは531,907人(99%完了)。今回発表された「第1」「第2」の内訳は後者におけるものだ。これから未処理の3,000人強が加わるが、「第2」は増えても数人だろう。



そのほか、未処理分も含めた出願状況は、「志願者総数=535,244人(557,699人/昨年確定数。以下同)」、「うち現役生=449,789人(452,235人)」、「うち既卒生等=85,455人(105,464人)」となっている。

●「第2」とは

改めて「第2」を振り返っておこう。「第2」は新型コロナによる約3か月の学校休業を受け、受験生の学習時間を確保するために設けられた特例措置。今年6月の文科省「入学者選抜実施要項」で急遽示された。試験日は「第1」の2週間後で、受験生は「第1」か「第2」を選択できる。

ただし「第2」の対象は原則現役生で、学校長が「学業を遅れ」を認めた者に限られる。「第1」「第2」の選択は出願時に行い、それ以降の変更は認められない。

なお、「第1」の追試験は「第2」と同日に、「第2」の追試験は「特例追試験」として2月13日、14日に実施する。再試験も同様だ。

●「第 2」が少ない背景

かなり異例の措置といえる「第 2」。もともと志願者は非常に少ないだろうと予想されていた。

7月に文科省が全国の高校を通じて(=現役生対象)行った意向調査では、「第 1=431,000 人」「第 2=32,000 人」。第 2は7%程度だった。これでも非常に少ないと思えるが、今回の発表でさらに激減し、現役生の中だけで見ると0.2%となった。

「第 2」は確かに「第 1」よりも2週間の学習時間が得られる、あるいは初の共テ問題を「第 1」で見ながら試験に臨むことができるというメリットがある。しかし一方で、試験会場が近くに設置されないかもしれない、「第 2」以降の入試日程がタイトになるなどのデメリットも大きい。

7月の意向調査は「第 2」の実施発表(6月)の直後だったため、こうしたメリット、デメリットが受験生に認知されていなかったのだろう。その後、高校で「第 1」を勧める方向で指導がなされ、実際の出願で「第 2」が激減したと思われる。

■ 2021 年 共通テストの日程 ■

	試験会場	正解等公表	平均点等中間発表	得点調整有無	平均点等最終発表	私立大一般選抜	国公立大出願(一般)
第1日程 (1月16、17日)	毎年約700	実施後即日	1月20日(予定)	1月22日(予定)	2月18日(予定)	2月1日～ (1月末から実施する大学も)	1月25日～2月5日
第2日程 (1月30、31日)	全都道府県	実施後即日	2月3日(予定)	2月4日(予定)			2月15日～2月18日
特例追試験 (2月13、14日)	全国2か所	実施後即日	ナシ	ナシ			

受験生としてはもう1点、予備校等が「第 2」も自己採点を行うのが気になるだろう。本日現在では河合塾が「第 2」も行うことを表明している。個人成績表の提供は行わず、Webシステムでのデータ提供になるということだ。

●特例追試験はどうなる

「第 2」の追試、再試として行われる「特例追試」※。例年、追試と再試は本試の1週間後だが、今回は「第 1」から1か月間も共テを引っ張ることになった。これに対応すべく大学側は入試日程の調整に苦労しただろう。国公立大の一般選抜の出願は上表のとおり、「第 1」「第 2」とは別日程で出願を受け付けることとした。私立大の共テ利用入試の可否は、まず「第 1」「第 2」で発表し、追加で「特例追試」を発表するなどの対応が見られる。「特例追試」は対応できないという入試もある。

さて、実際の「特例追試」の受験者数はどの程度になるか。例年、追試、再試の対象者は数100人で全志願者の0.1%程度。これはあくまで対象者数で、実際の受験者数はさらに少ない。現状の「第 2」の志願者数789人から考えると、場合によっては対象者ゼロの可能性もある。

※正確には「特例追試」は「第 2」の追試のみを指す。再試も同日に同じ問題で行われる。

(2020.10 石井)